

第26回公募
2010日本ジュエリーアート展
JAPAN JEWELLERY ART COMPETITION

応募登録締切り：応募料振込み2010年3月5日（金）消印まで

所定の応募要項と申込み用紙は、すべて郵送でお送りしています
送付ご希望の方は、送付宛先・氏名とともにJJDAへメールでご連絡ください
ダウンロード形式による配布は行っておりません
sec@jjda.or.jp

応募概要

趣旨

日本ジュウリーデザイナー協会(JJDA)は創立から45年を数え、創立当初から開催されている公募展は26回を迎えます。この間多くのジュエリーアーティストがこの公募展を通して誕生いたしました。

本展はジュエリーアート展という名称のように、一般的な装身具の概念を飛び出して、素材の制限を設けず、自由な発想でアートとしてジュエリーの可能性を開こうという目的で開催いたします。26歳以下の方々には次への飛躍の場になるよう「under26」部門を設けています。経験、世代を問わず、思いもつかない新鮮な感覚で多くの新しいジュエリーの提案があることを期待いたします。

社団法人日本ジュウリーデザイナー協会
会長 菅沼知行

選考基準

- ・創造性があること
- ・独創的であること
- ・提案性があること
- ・素材・技術が的確であること

応募内容

素材は、貴金属・宝石はもとよりあらゆる素材の使用ができます。
既成の枠にとらわれない新しいジュエリーを創作してください。

1. 一般部門
2. under26部門

応募資格

本展の趣旨に賛同する者で、国籍は問いませんが、国内よりの応募に限ります。海外からの出品は、日本国内の代理人による応募に限ります。

under26部門は、2010年3月17日時点で26歳以下の者に限ります。27歳以上の者は一般部門となります。

応募作品

未発表の装身具に限ります。（但し学生の卒業制作作品は応募可能）作品はすべて非売とします。

[応募は、必ず所定の要項と応募用紙を取り寄せてご覧になってから行ってください。](#)

応募料

一般部門は、5点までを10,000円、under26部門は、5,000円。5点を越える場合は1点につき一般部門2,000円・under26部門1,000円を追加します。作品をシリーズとして応募する場合

も1シリーズを構成するそれぞれの点数を1点ずつと数えます。一旦納入された応募料は返却致しませんのでご了承下さい。

作品受付日

2010年3月17日(水)午後4時迄必着(指定日以外は、受け付けられませんので配達日指定でお送り下さい。直接持込搬入はできません。)

賞・賞金

大賞 1名(賞状・トロフィー・副賞50万円)
優秀賞 2名(賞状・トロフィー・副賞各10万円)
under26部門賞 1名(賞状・トロフィー・副賞10万円)
特別賞 2名(賞状・トロフィー・副賞各5万円)
奨励賞 若干名(賞状・副賞)

※大賞、優秀賞、特別賞、奨励賞は全入選作品から選出されます。

※トロフィー 三木稔制作

審査員

鹿目尚志 パッケージデザイナー
飯野一朗 東京藝術大学教授(工芸科彫金)
菅沼知行 (社)日本ジュウリーデザイナー協会会長
荒井康子 (社)日本ジュウリーデザイナー協会会員
小倉理都子 (社)日本ジュウリーデザイナー協会会員
黒沢秀二 (社)日本ジュウリーデザイナー協会理事
野元愛子 (社)日本ジュウリーデザイナー協会監事

入賞入選作品の展覧会期/会場

上野の森美術館(東京)	5月21日(金)～5月25日(火)
伊丹市立工芸センター(伊丹)	5月27日(木)～6月9日(水)
国際デザインセンター・デザインギャラリー(名古屋)	6月30日(水)～7月5日(月)
せんだいメディアテーク・ギャラリー(仙台)	7月23日(金)～7月28日(水)

(名古屋及び仙台会場は、会場の都合により選抜になる可能性があります)

主催

社団法人日本ジュウリーデザイナー協会/伊丹市立工芸センター[(財)伊丹市文化振興財団・伊丹市]

後援

経済産業省
財団法人日本産業デザイン振興会
財団法人日本余暇文化振興会・楽習フォーラム・アートクレイ倶楽部
社団法人総合デザイナー協会

問合せ先 (社)日本ジュウリーデザイナー協会
公募2010日本ジュエリーアート展 係
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-7アライビル8F
TEL03-3523-7344 FAX03-3523-7346
e-mail sec@jjda.or.jp URL <http://www.jjda.or.jp>